

NPO法人ECOリパブリック白神  
第14回理事会 議事録(案)

日時：2010年2月22日(月) 16:00～

場所：エコウィンハウス

## 1. 開会宣言

## 2. 理事長挨拶

エコウィンハウスで初めての理事会となりました。

先日、私と菊池さんとで上海に行つて参りました。どんどん発展していると感じたが、そこには「環境」や「エコ」という視点があまり感じられませんでした。改めて我々が白神を守りながら地域を支えていくことの意義を強く感じた次第です。いよいよ4月から第2期に入つて参りますので、新規事業・継続事業をしっかり検討し実行に移していきたいと考えています。

## 3. 議長選出

## 4. 議事

### 1) 出席者の確認

〔出席理事〕 渋谷、鶴見、太田、大中、安東、菊池、(事務局 佐藤、小笠原)

〔出席監事〕 田中

〔欠席理事〕 橋元

### 2) 定足数の確認

6名の理事、他1名の委任により本理事会は成立。

### 3) 資料の確認

### 4) 議事録作成人並びに署名人の指名

議事録作成人：小笠原(事務局)

議事録署名人：鶴見副理事

議事録署名人：菊池理事

### 5) 協議事項

第1号議案 第13回理事会議事録(案)承認の件

→全会一致で可決

第2号議案 1月度一般会計収支予算書(案)承認の件

→全会一致で可決

第3号議案 1月度貸借対照表(案)承認の件

→全会一致で可決 ※田中監事：3月3日(水)、佐藤さんの時間をみて一度確認作業を行う。

第4号議案 ルネスアベニュー2階のマネジメント受託の件 参考資料1

→全会一致で可決 ※取り組んでいく方向で引き続き検討していく。

<第4号議案に関連する各理事からのコメント>

大中理事：コマ数を減らして対応する。11コマを埋めることに尽力していただきたい。

法人の財源がないのだから、財源確保になることには積極的に取り組むべき。

渋谷理事長：弘前にアンテナショップのようなものを出してみないか色々な方に声をかけている。

高齢化社会を見据えたサービスのような役割も入れるのも良いアイデアだと思う。  
ジョッパル跡地にしても、いかにハコを上手く利用していくかが我々の使命だと思う。  
最低限のリスクでこの事業には参加する方向で考えていきたい。

菊池理事：店が入ってからの方が大事だと思う。常に鮮度を保つことが重要。  
はじまってからのメンテナンス、継続的な“しかけ”が大切であり大変だと思う。  
ただの雑多でもダメ。  
11コマ集めるのは難しいのでは？チャレンジショップのリスクを知っている人も多い。  
総じてプロではない我々が関わることのリスクは大きいかもしれない。

太田理事：コマを埋めていくための情報能力という面は低いというのが現状である。  
フリーマーケットをやっている人たちが、参加するような形式もいいのでは。

田中監事：ルネス1Fは高級志向で必ずしも地域のニーズ合致していないのでは。  
契約の内容からみると、設備投資も限られていると思われる（棚も固定式はNG）  
「食」がキーになると思う。B級グルメを提供できるような場所があってもいいのでは。  
リンゴとか地域の特産も扱うべきか？食育という面からも。  
チャレンジショップというコンセプトの方が可能性が広がると思う。  
商売のノウハウを知らない人に対して、例えば経理知識を教えるという役割も私たちにはある。  
事前のルール設定が必要（2コマ使用不可とか・・・）

安東理事：NPO 法人としてサポートする価値があるのかどうか先ず確認して議論する必要がある。  
弘前の活性化につながるのであれば勿論必要な取り組みである。

#### 第5号議案 その他

（削除）次の「5. 報告・依頼事項」に盛り込む。

### 5. 報告・依頼事項

- 1) 白神情報番組「しらかみさん家へ集合ね！」について  
大中さん→今後のスケジュールを配信する。
- 2) 弘前感交劇場やわらかネットの運営について  
渋谷理事→環境ビジネスの提案もしていきたい。
- 3) 世界遺産トーチランコンサートについて 参考資料1  
コンサートそのものはAWが取り仕切る。  
コンサートの前段に農業体験などを入れて、全体をツアーにしてみたいと考えている。
- 4) 全国城下町シンポジウム分科会について  
分科会 6月12日15:00～17:30  
予算は10万程度。カテゴリーは「経済・観光」  
→アイデアを募集します。
- 5) エコキャップ事業について  
来年度の看板事業の一つになるものである。  
青南商事ではダダで受けてよいのか？  
→事前に市に確認をとることが必要。  
PET ボトルは市の基準に合わせる必要がある。  
→ECO リパの回収基準が甘い…というのはNG である。  
ECO リパに還元する形をどのように実現していくか。

→ECO リパから市の方に確認する必要がある。県にも行く必要がある。

→鶴見副理事長が対応する。

市の収入源に影響を与えないように配慮する必要がある。

市としてはプラスチックの回収率が下がるという懸念があるのでは？

→集計方法の問題。

#### 6) エコウィンハウス運営について

佐藤さんが月・水・金が出勤。電話の設置済。

数名であるが来客対応もしている。

#### 7) 「環境マネジメントで経営改善」ラウンドテーブルについて 鶴見副理事長より

KESの方がISOよりも取得経費が低いため、普及しやすいというメリットがある。

そのような実例を紹介していく予定。

ストップ温暖化センターの設置が進んでおり、弘前にも将来設置される可能性が高い。

#### 8) 第2期(平成22年4月～平成23年3月)の基本計画について

##### ①組織図の確認

新たに加盟する福澤理事に事務局長を担当してもらおう。

職務分掌は仮の状態。適材適所をお願いしていく。

→各理事は担当を希望する事業をメールで事務局へ報告すること。

会員へ自分が参加したい事業をメールで返信するよう案内する。

→雛形を作成して配信する。

委員会制度の検討および理事増員の検討。

##### ②来年度の事業収入見込み

4つ位の事業が大きな柱になっていくと考えている。

##### 《田中監事より情報提供》

遊休農地を活用・解消を目的としたエコ事業も一つのヒントとなる

食育関係の事業

#### 9) 会員入会及び入会金納入状況について

先月と変わりなし。

#### 10) 年間スケジュールについて

配布資料の年間スケジュールを確認。

#### 11) その他

白神エコツアーリズム推進講座の資料を確認。

### 6. 次回会議開催日の確認

1) 第15回理事会 日時：3月17日(水) 16時～、場所：エコウィンハウスを予定

※詳細は後日、事務局より連絡する。

### 7. 監事講評

やるべきことがたくさんみえてきた中で、「確実に動ける人」をどう束ねていくかが今後事業を進めていくうえで重要となっていくと思います。ぜひ理事の皆さんには今後も引き続きがんばっていただきたいです。

### 8. 閉会宣言